

ピロリ菌 検査の勧め



水口医療センター副院長 田中 成一

長年、消化性潰瘍を患い、季節の変わり目や冬場になるとお腹の痛みを訴えていた私の父が、ここ2、3年は言わなくなりました。検査によってピロリ菌陽性とわかり、除菌できたのが良かったのでしょう。

消化性潰瘍とは、胃や十二指腸の粘膜が胃酸で消化され、傷ついて掘れた状態です。

胃などでは、食物を消化するために強い「酸」が分泌されるため、この「酸」から粘膜を守るための防御機構が備わっています。「酸」に代表される「攻撃因子」と粘膜を守る「防御因子」のバランスが崩れ、潰瘍が発生するとされています。

近年、ヘリコバクター・ピロリという細菌が、潰瘍の発生に関わっていることが明らかになってきました。

ピロリ菌は、らせん状の2~5ミクロン程度の細菌で、胃などの粘膜に定着し、粘膜を傷つける作用をもっています。

ピロリ菌は、内服治療によって除去することができる可能性があります。また、除菌が成功すると、消化性潰瘍の再発率や胃がんの発生率を抑えられるという研究報告もあります。

血液検査などで検査ができますので、慢性の消化性潰瘍でお困りの方は、一度ピロリ菌検査を受けてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 水口医療センター
☎ 62-3346 ☎ 63-1728



安全な 通行のために

市内には数多くの踏切が設置されています。車と人や自転車が同時に踏み切りを通行する時も多く、幅が狭い踏切では、危険を感じることがあります。

そうした踏切では、拡幅対策工事などを進め、学校へ通学する児童・生徒、買い物や散歩をされる皆さんの安心・安全に取り組めます。



▲踏切現場とその状況を確認

高度医療の充実のために

公立甲賀病院



▲国道1号からの進入路整備予定地の現場

平成24年度の開院をめざして準備が進められている公立甲賀病院新築事業。同病院は当市と湖南市が構成市となり設置されている病院です。

移転場所は、同病院組合議会で水口町松尾地先と決定、現在、工事着手に向けて準備が進められています。

市では、子育て支援対策に積極的に取り組んでいます。

その一つに放課後児童クラブ事業があり、市内では地域の協力により運営していただいています。

それぞれの児童クラブでは、入所希望児童の増加により施設が狭くなっていることや老朽化が進んでいることから、新築や改築などの要望が寄せられています。

市長ぐるっとトークでは、各地域の児童クラブを訪問し、指導者の方からも直接ご意見を聞かせていただいています。



▲柏木児童クラブの子どもたちと記念撮影

地域に支えられる子育て 放課後児童クラブ

市長！ぐるっとトーク 第18回

協働の現場を訪問

今郷まるごと保全隊

現在、水口町今郷地域では、地域内の農地・農業用水路等の資源や環境の保全と質的向上のため、地域の全住民で組織する「今郷まるごと保全隊」を結成、さまざまな地域の環境向上対策事業に取り組んでいただいています。

その活動の中から、農地の景観形成を進めるために農業地の法面に施した防草シート設置現場を見せていただきました。



▲今郷まるごと保全隊による防草シート設置現場

市道については各地域から、拡幅や改良などの要望があります。限られた予算の中で緊急度や効果など、あらゆる視点から順次整備を進めています。



▲土山地域の工事現場

道路改良現場を 確認

今回は、整備中の現場を視察、工事の進捗状況や周辺の状態を確認しました。

地場産業を取り巻く環境

信楽窯業技術試験場

お茶をはじめとする農産物や薬、焼き物など甲賀市には、数多くの地場産業があります。

深刻な景気低迷が続く中、企業努力による対策を踏まえ、市としても経済支援対策の検討を進めています。

今回は、信楽窯業技術試験場に寄せていただき、東京ビッグサイトで開かれる「ライティング・フェア2009」に出品される新商品を拝見し、信楽焼の現状をお聞きしました。



▲LEDを使った信楽焼の照明器具



厳しい財政状況の中、確かな市政運営のためには現場からの情報が大切です。2月16日には、18回目となる市長ぐるっとトークを実施しました。今回は、地域で取り組んでいただいている活動現場や市道改良事業、公立甲賀病院移転新築事業、放課後児童クラブなど、市民の皆さんの生活に密着する現場を確認しました。